

水稻用初・中期一発処理除草剤

マスラオ®

1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ

雑草、成敗いたす。



水稲用初・中期一発処理除草剤



「マスラオ®」は住友化学(株)の原体である「イマゾスルフロン」とクミアイ化学工業(株)の原体である「ピリミノバックメチル」、「フェンキノトリオン」を配合した3種混合剤の水稲用初・中期一発処理除草剤です。

農家の皆様の様々なニーズにお応えします!!

- ➡ 移植水稲、直播水稲に使用可能!
- ➡ 各種は種様式、散布方法に対応可能! ※表1を参照してください。
- ➡ 新規有効成分フェンキノトリオンを配合しSU抵抗性雑草を含むホタルイ、コナギ、ミズアオイ、オモダカに高い効果を発揮!
- ➡ 1キロ粒剤は、移植水稲では田植同時散布、湛水直播では表面は種または土中は種で同時散布に使用できます。

※表1

*乾田直播の場合は入水5日後以降(ただし稲1葉期以降)に散布。

使用時期 使用方法	直播水稲				移植水稲	
	表面は種 土中は種 乾田直播*	は種同時処理 (乾田直播は除く)	は種直後～ ノビエ3葉期	稲1葉期～ ノビエ3葉期	田植同時処理	移植直後～ ノビエ3葉期
マスラオ1キロ粒剤	●	●	●		●	●
マスラオフロアブル	●	×	×	●	●	●
マスラオジャンボ	●	×	×	●	×	●

写真の散布方法は1キロ粒剤です。





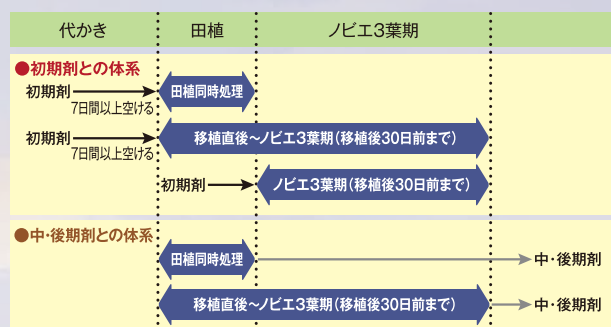
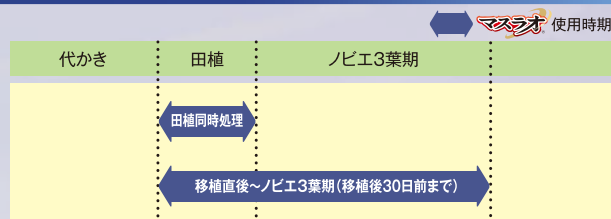
移植水稻栽培での上手な使い方

◆一発処理で使用する場合

- 田植同時処理では1キロ粒剤、フロアブルが使用可能です。
- 代かきから田植までの期間が長い場合は初期剤を使用してください。
- マスラオ散布後の雑草の残草状況や発生程度をご確認いただき、必要に応じて中・後期剤を使用してください。

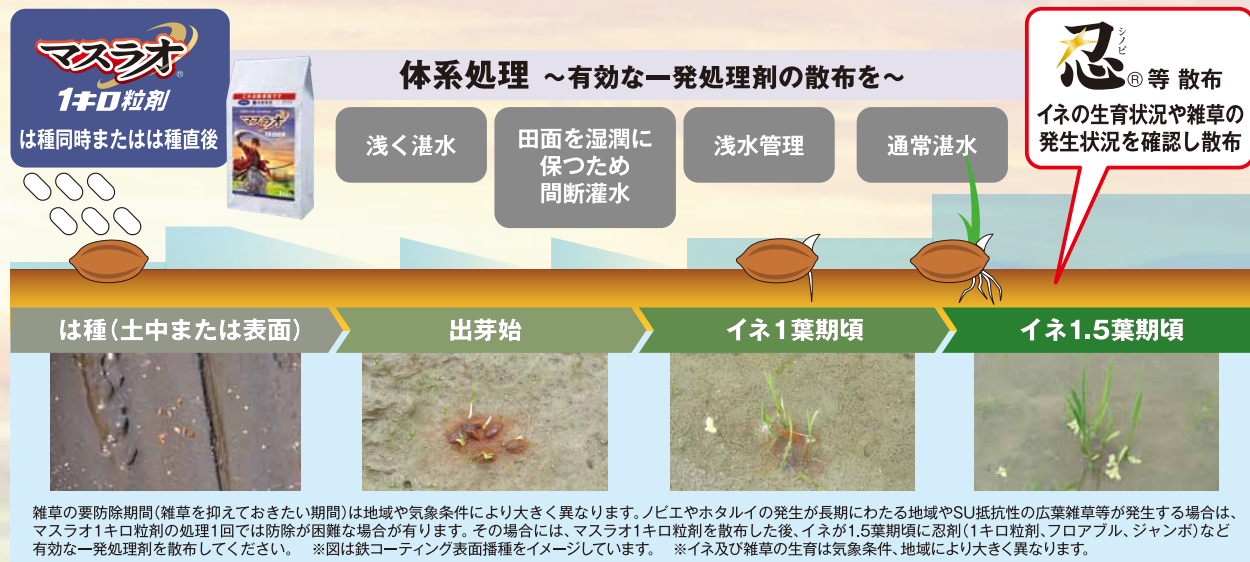
◆初期剤または中・後期剤と体系で使用する場合

- 水持ちが悪い圃場や、雑草の発生が多く従来から除草剤を体系で使用されている圃場は、これまでどおり初期剤や中・後期剤と体系で使用してください。
- 初期剤と体系で使用する場合は、初期剤の残効や雑草の発生状況をご確認いただき、マスラオの適期を逃さないように使用してください。
- 中・後期剤と体系で使用する場合は、マスラオ散布後の雑草の残草状況や発生程度をご確認いただき使用適期を逃さないように注意してください。



湛水直播水稻栽培での上手な使い方

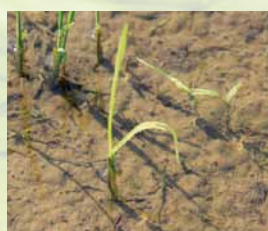
- ① 耕耘はしていけないに行い、圃場をできるだけ均平に保ちます。枕地などではトラクタの旋回で土壌を練りすぎないように注意してください。
- ② は種及び「マスラオ1キロ粒剤」のは種同時処理は潤土状態で、その後速やかに「湛水」または「ごく浅い湛水」状態にします。
- ③ は種後に「マスラオ1キロ粒剤」を散布する場合は、散布後数日は湛水状態を保ち、強制落水せずに自然落水とします。
- ④ 出芽前期頃までは落水管理が基本ですが、間断湛水(走り水程度)を行い、田面の水分を保ちましょう。



◆ノビエに対しての注意

**ノビエには遅効的
(発生後に枯れます)**

マスラオ1キロ粒剤をは種時処理しても、多くの場合ノビエは発生します。しかし強く抑制され葉色も淡く、2葉期前後には枯死します。



◆稲発酵粗飼料(稲WCS)に使用可能

マスラオは3剤型ともに、[※]稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアルに掲載されています。移植水稻、直播水稻の両方に使用できます。(※一般社団法人日本草地畜産種子協会HPを参照してください。)

稲発酵粗飼料(稲WCS)とは

稲の実が完熟する前に、実と茎葉を一体的に収穫し、乳酸発酵させた飼料のこと。稲ホールクロップ・サイレージとも呼ばれます。水田の有効活用と飼料自給率の向上に資する飼料作物として、作付面積が拡大しています。(農林水産省HPより抜粋)



主な適用雑草(効果が認められた雑草も含む)



ノビエ



コナギ



ミズアオイ



ホタルイ



ヘラオモダカ



ウリカワ



オモダカ



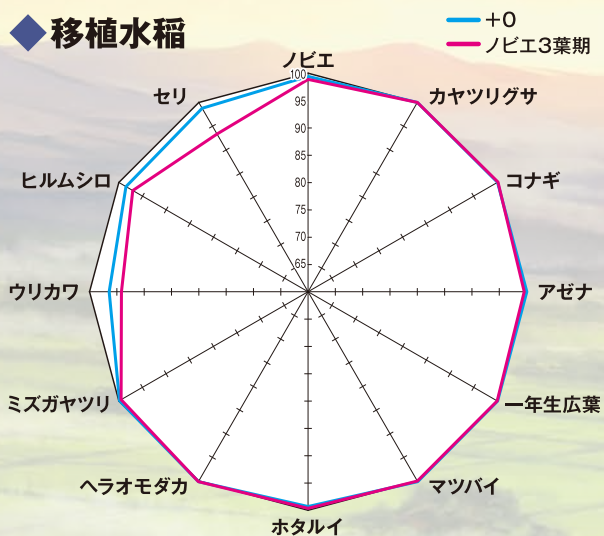
クログワイ



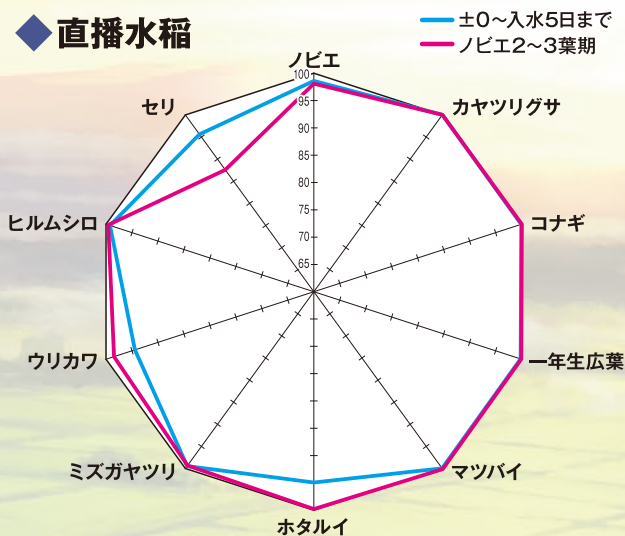
各種雑草に対する除草効果

2016～2017年 (公財)日本植物調節剤研究協会 委託試験
マスラオ1キロ粒剤 対無処理区比(100%-残草量対無処理区比%)

◆ 移植水稻



◆ 直播水稻



各草種に対し高い効果を確認しています。

*草種により試験事例数は異なります。また、試験場所により対象草種の発生が無い場合があります。



タイヌビエおよびSU抵抗性雑草に対する除草効果

2018年 住友化学(株)社内試験

[試験規模] 1/5,000aポット

[処 理 量] 1kg/10a

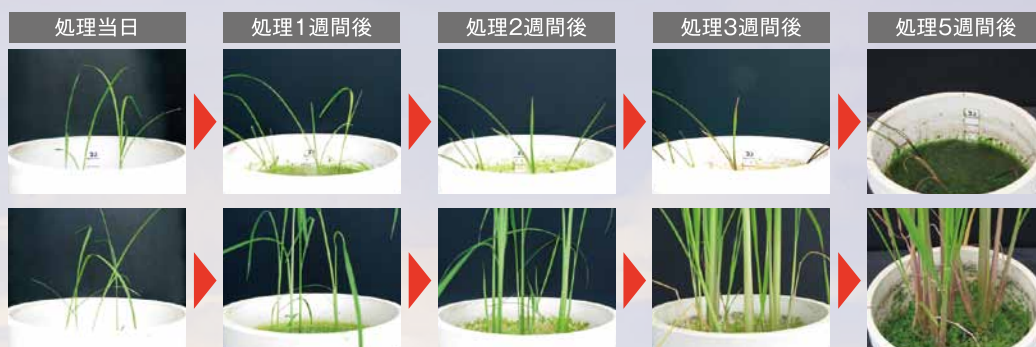
[各草種の処理時葉齢]

タイヌビエ:3葉期/イヌホタルイ:3葉期/コナギ:2葉期/オモダカ:線形葉2葉期

◆タイヌビエ



無処理



◆イヌホタルイ



無処理



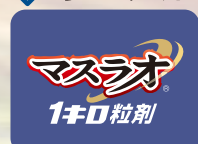
◆コナギ



無処理



◆オモダカ



無処理



各草種に対していずれも高い効果を示します。



移植直後処理による除草効果

2018年 住友化学(株)社内試験

[試験規模] 圃場1.5m×2m(3m²) 2反復

[移植日] 5月29日

[処理日] 5月29日

[処理量] 1kg/10a(移植直後)

[各草種の処理時葉齢]

ノビエ : 発生前

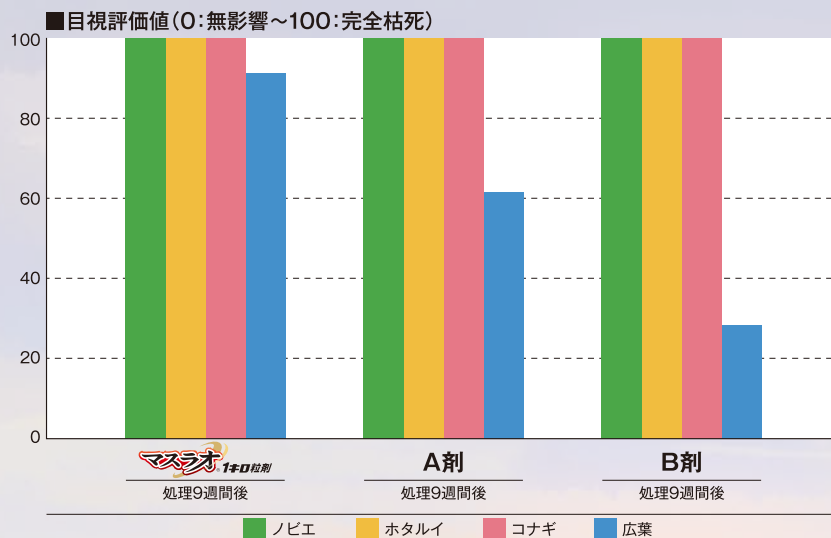
イヌホタルイ : 発生前～子葉鞘

コナギ : 発生前～子葉鞘

広葉※ : 発生前～子葉

タマガヤツリ : 発生前～子葉鞘

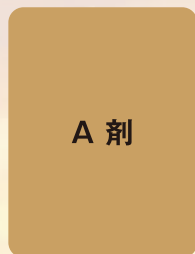
※広葉: アゼナ類、ホソバヒメミソハギ、ミソハコベ



処理23日後



処理35日後



広葉雑草に対して高い効果を示します。



低温条件下でのイヌホタルイ(SU抵抗性)に対する除草効果

2018年 住友化学(株) 社内試験

[試験規模] 1/5,000aポット

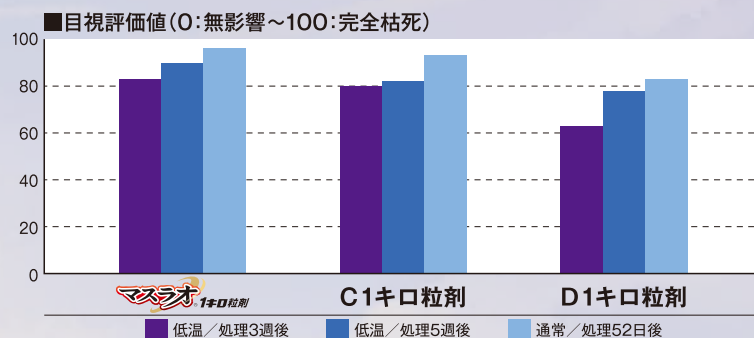
[処 理 量] 1kg/10a

[処理時葉齢] イヌホタルイ:3葉期

[コイトロン温度条件]

昼間20℃(7h)、夜間12℃(17h)処理5週間まで

その後2週間程度、通常栽培温度条件下 昼夜25℃(24h)



低温条件下においてもSU抵抗性イヌホタルイへ高い効果を示します。



低温条件下でのコナギ(SU抵抗性)に対する除草効果

2018年 住友化学(株) 社内試験

[試験規模] 1/5,000aポット

[処 理 量] 1kg/10a

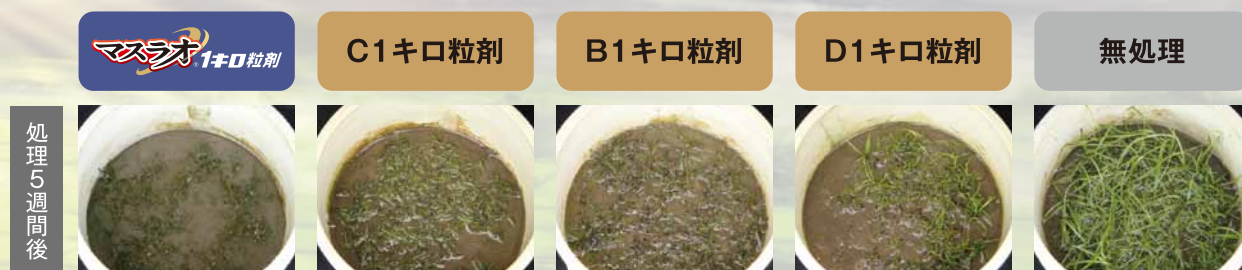
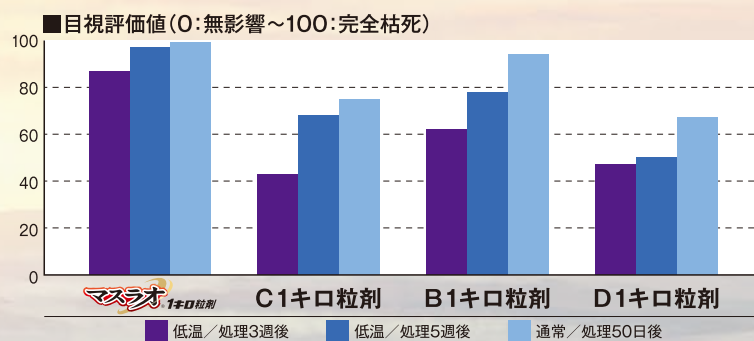
[処理時葉齢] コナギ:2葉期

[コイトロン温度条件]

昼間20℃(7h)、夜間12℃(17h)処理5週間まで

その後2週間程度、通常栽培温度条件下

昼夜30℃(7h)、夜間25℃(17h)



低温条件下においてもSU抵抗性コナギへ高い効果を示します。



水稲への安全性（薬害）

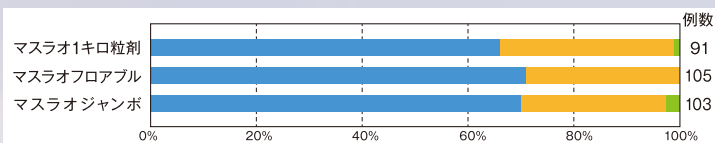
2016～2017年
(公財)日本植物調節剤研究協会 委託試験

※無、微、小、中は日植調委託試験における薬害程度を示しています。

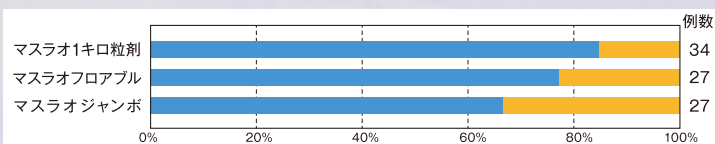
※移植水稲では1キロ粒剤及びフロアブルは田植同時処理及び移植直後～ノビエ3葉期のジャンボ剤は移植直後～ノビエ3葉期の処理を集計しています。

※直播水稲は表面播種、土中播種、乾田直播が含まれます。また1キロ粒剤は播種同時処理及び播種直後～ノビエ3葉期、フロアブル、ジャンボ剤は稲1葉期～ノビエ3葉期の処理を集計しています。

移植水稲



直播水稲



※薬害の程度 無 微 小 中

各剤型ともに水稲に対して高い安全性を確認しています。



高温、浅植え、浅水条件下での薬害試験

2018年 住友化学(株)社内試験

【試験規模】ワグネルポット 1/5000a 3反復
コイトトロンを使用

【移植日】7月12日

【処理量】1kg/10a(移植直後)

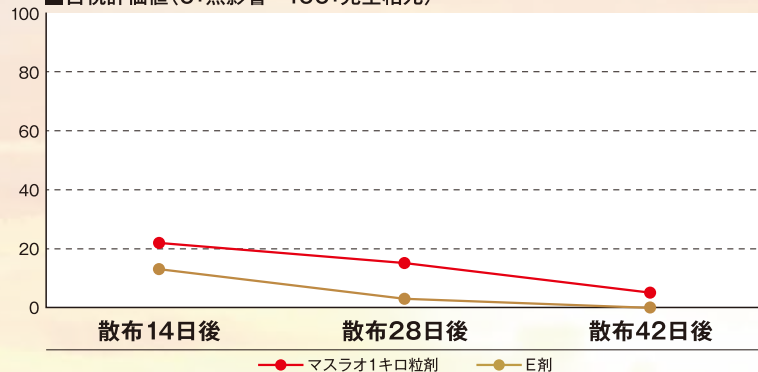
【移植方法】2個体/1株をポットに1株ずつ、
移植深度0cmで移植。イネ草丈14～18cm、
葉齢1.9～2.3

【温度条件】11～16時(5時間)は32℃、
16～11時(19時間)は25℃で設定。

【水管理】処理直後から1週間湛水深0～1cmで管理、
その後は湛水深3～5cmで管理

【評価方法】目視観察

■目視評価値(0:無影響～100:完全枯死)



マスラオ1キロ粒剤

E剤

無処理

処理
14日後



処理
28日後



処理
42日後



生育抑制の症状は軽微で高い安全性を確認しています。



直播水稻での薬害試験

2018年 住友化学(株)社内試験

[試験規模] ワグネルポット 1/2000a 3反復

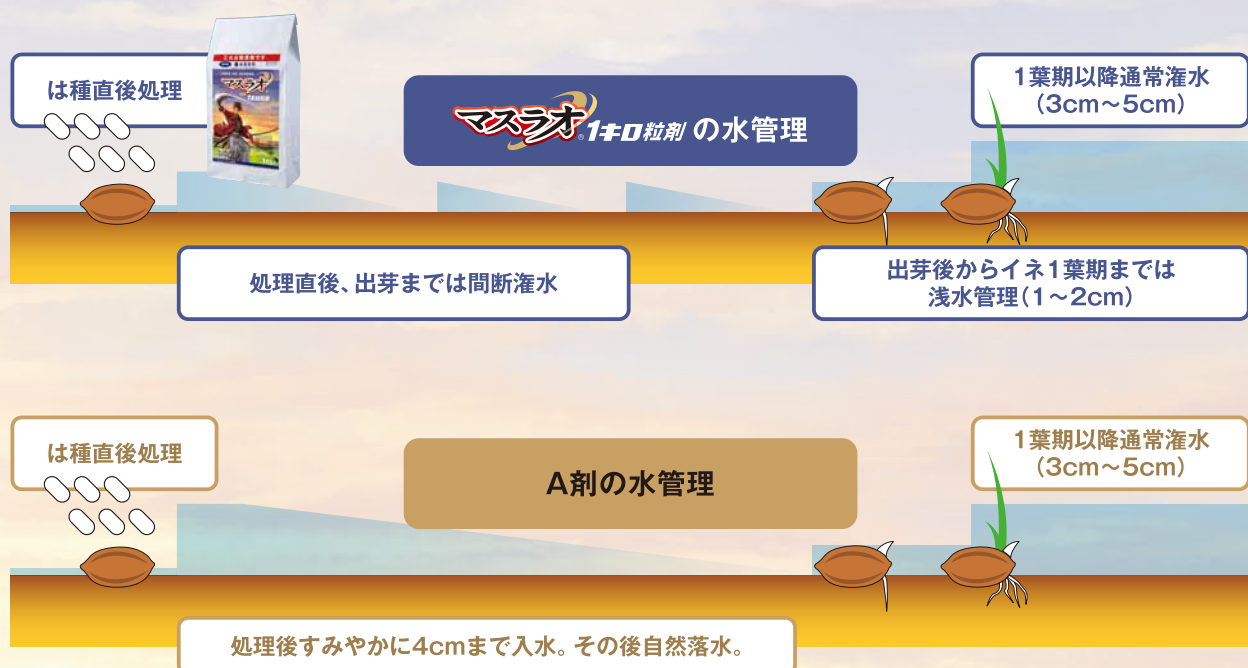
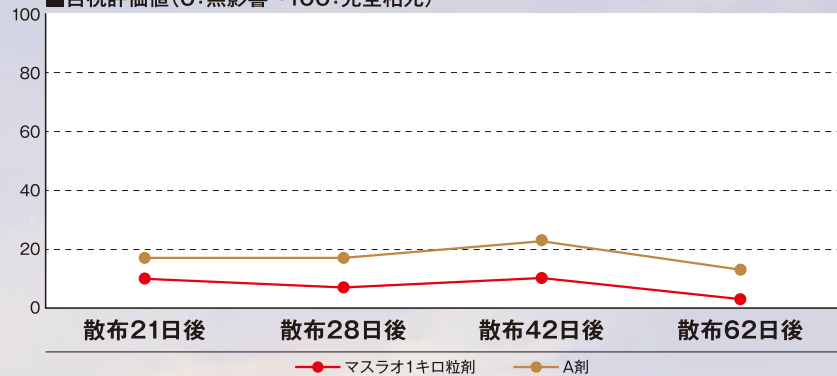
[は種日] 6月14日

[処理量] 1kg/10a(は種直後)

[水管理] 各剤の図のとおり

[評価方法] 観察評価

■ 目視評価値(0:無影響~100:完全枯死)



マスラオ 1+0粒剤

A 剤

無処理

処理
11日後



処理
15日後



処理
21日後



処理
28日後



処理
42日後



処理
62日後



は種後の間断灌水による水管理でも水稻への高い安全性を確認しています。

マスラオ1キロ粒剤の適用と使用方法

農林水産省登録 第24165号

【有効成分】イマズスルフロン…0.90%
ピリミノバックメチル…0.60% フェンキノトリオン…3.0%

■主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ミスガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ セリ、エゾノサヤナグサ オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg/10a	1回	田植同時 散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ミスガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	は種時			は種同時 散布機で施用
		は種直後～ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			湛水散布又は ごく浅く 湛水して散布

ホタルイ ウリカワ	3葉期まで
ヘラオモダカ	2葉期まで (直播水稻は3葉期まで)
ミスガヤツリ	草丈15cm以下まで (直播水稻は10cm以下まで)
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで (直播水稻は再生期まで)
エゾノサヤナグサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前まで

マスラオフロアブルの適用と使用方法

農林水産省登録 第24167号

【有効成分】イマズスルフロン…1.7%
ピリミノバックメチル…1.2% フェンキノトリオン…5.8%

■主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ミスガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ セリ、エゾノサヤナグサ オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500mℓ /10a	1回	田植同時 散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで			原液湛水散布
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ミスガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

ホタルイ	3葉期まで
ウリカワ	3葉期まで (直播水稻は2葉期まで)
ヘラオモダカ	2葉期まで
ミスガヤツリ	草丈15cm以下まで (直播水稻は10cm以下まで)
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで (直播水稻は再生期まで)
エゾノサヤナグサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前まで

マスラオジャンボの適用と使用方法

農林水産省登録 第24166号

【有効成分】イマズスルフロン…4.5%
ピリミノバックメチル…3.0% フェンキノトリオン…15.0%

■主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エゾノサヤナグサ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (バック) 10個 (200g) /10a	1回	水田に 小包装(バック) のまま 投げ入れる
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

ホタルイ	3葉期まで
ウリカワ エゾノサヤナグサ ヘラオモダカ	2葉期まで
ミスガヤツリ	草丈10cm以下まで (直播水稻は5cm以下まで)
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
シズイ	草丈3cm以下まで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前まで

イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数	2回以内	ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	2回以内	フェンキノトリオンを含む農薬の総使用回数	2回以内
---------------------	------	-----------------------	------	----------------------	------

(上記の内容はすべて2019年9月現在の登録内容)

使用上の注意事項

【3剤型共通の使用上の注意事項】

- 雑草の発生前から生育初期には有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
 - ②軟弱な苗を移植した水田。 ③極端な浅植えの水田。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえてください。
- その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないください。
- 田植前に生育したミスガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【1キロ粒剤・フロアブルの使用上の注意事項】

- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業はていねいにおこなってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなってください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせで使用してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

【フロアブル・ジャンボの使用上の注意事項】

- 直播水稻で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。

【1キロ粒剤の使用上の注意事項】

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。



【フロアブルの使用上の注意事項】

- 散布の際は不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 使用前に容器をよく振ってください。

【ジャンボの使用上の注意事項】

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるように整地、代かきはていねいに行い、ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 処理に当っては、水の出入りを止めて5～6cmの湛水状態に保ってください。処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 小包装(バック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足の可能性があるので使用をさけてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせで使用してください。
- 使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
- 濡れた手で触らないでください。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合、かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

水稻用初・中期一発処理除草剤



雑草、成敗いたす。



01R9I19M24:ZS

2019年9月作成（全新企画社）

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP



住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室  0570-058-669

農業支援サイト  農力 <https://www.i-nouryoku.com>

